

# 日本トイレ大賞 2022 応募要項

NPO 法人日本トイレ研究所は、昨年に引き続き「日本トイレ大賞 2022」を募集致します。

日本において「トイレ」に対する捉え方は徐々に変わってきているように見受けられます。都心部の立派なビルや商業施設などでは「トイレ」がキレイで快適であることが施設の好感度を上げるものとされ、外国から日本のトイレはスペシャルだと言われる等、トイレへの意識の高まりを感じます。

しかしながら、災害時のトイレ問題、小学校のトイレ環境、ダイバーシティにおけるトイレ問題など、トイレに関する課題はまだ沢山あります。日本トイレ大賞は課題解決への取り組みを独自の視点で評価し、表彰することで、トイレ・排泄の改善に取り組む思いを共有します。

## 1 目的

「トイレ・排泄」という普段話題にしにくい取り組みに対する意識を高め、障壁を低くし、伝播していくことが「日本トイレ大賞」の目的です。

## 2 対象

国内において、トイレ環境・排泄に真摯に向き合う魅力的な取り組みで、現在も継続的に行っているもの。

- 例 1. トイレ掃除やトイレの飾り付け等、トイレが快適になるような取り組み
- 例 2. トイレ・排泄の大切さを伝える取り組み
- 例 3. トイレを通じて「おもてなし」をする取り組み
- 例 4. 災害時のトイレ対策の実施や推進の取り組み
- 例 5. トイレ施設の整備・支援等の取り組み

この他にもトイレや排泄に関わる取り組みであれば対象となります。

ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

## 3 応募方法

応募は個人・団体を問いません。

事務局宛に次頁エントリーシートをメールまたは郵送、FAX でご送付ください。

## 4 応募期間

2022年 7月1日（金）～8月31日（水）消印有効

## 5 審査方法

- (1) 特定非営利活動法人日本トイレ研究所の顧問、理事、アドバイザー、トイレ向上委員が審査します。
- (2) 審査にあたり、実践性、効果性、波及性、発展性、連携性、継続性という6つの観点で選考を行います。

## 6 発表方法

- (1) 今回は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、受賞者の発表は、11月10日（いいトイレの日）に特定非営利活動法人日本トイレ研究所のホームページ内で行います。
- (3) 受賞された場合、当研究所のイベント等で表彰させていただきます。また、当研究所のホームページ等でも取り組みの詳細をご紹介します。

## 7 その他

- (1) 応募書類の作成及び提出に要する費用は、応募者側にてご負担ください。
- (2) 提出された応募書類は返却いたしません。
- (3) 記載していただいた個人情報については、当研究所にて厳重に管理し、イベント等の案内以外の目的での使用はいたしません。

### 主催および事務局（問合せ先）

特定非営利活動法人 日本トイレ研究所 「日本トイレ大賞」事務局  
住所：〒105-0004 東京都港区新橋 5-5-1 IMCビル新橋 9F  
電話：03-6809-1308 FAX：03-6809-1412  
E-mail：toiletaward@toilet.or.jp



## 5.取り組みの詳細

取り組み内容を具体的にご記入ください。（1000～1500文字程度）

また、内容が分かる写真を、本資料に必ず1～2枚程度掲載してください。

取り組みについてのHPがございましたら、最後にURLを記載してください。



# 日本トイレひと大賞 歴代受賞一覧



★グランプリ  
☆準グランプリ

## ◇第1回受賞者 (2016)

応募者名 (所属)	活動タイトル
★川島 美穂 (御蔵島村立御蔵島小中学校)	「頭も体も使って学ぼう! うんちは健康のパロメーター」
市川 ゆかり	「自分を守る家族を守る携帯トイレ備蓄のすすめ」
特定非営利活動法人エムアクト	「オストメイトの認知度向上と対応トイレの重要性を伝える活動」
希望と笑顔のごすもす公園	「コンポストトイレで来園者の排泄物を自然に返す活動」
シェイクハートプロジェクト	「トイレで感じるダイバーシティ、障害×LGBT 音楽フェスで実践」
じゅうたく小町	「建設現場の環境改善、女性が活躍し続ける建設現場へ」
トイレ4姉妹	「あの悲劇を繰り返さない! 災害時トイレ問題に向き合う女性4人組」
福島市立鳥川小学校	「Welcome to TORIKAWA Toilet!!」
株式会社東日本環境アクセス	「ラスカ館内のグリーンパトロールをする、歩くインフォメーション」
三菱地所レジデンス株式会社「防災倶楽部」	「本気でトイレに向き合う マンションの防災訓練」

## ◇第2回受賞者 (2017)

応募者名 (所属)	活動タイトル
★谷口 智海 (鹿児島県立甲南高等学校 3年)	「Better Toilets to Save Your Lives」
☆羽田国際線ターミナルビル 維持管理センター	「世界中のお客様にきれい!とって頂けるトイレ空間を提供!!」
豊福和範	「長崎・トイレ案内板 (公衆トイレ内の設備を調査)」
美術家/ 邊 薫 (Kaoru Nabe)	「TOILET ART PROJECT」
ICO (イコ) いこトイレすすめ隊	「まちぐるみで取り組む ICO (イコ) いこトイレ対策」
下水道・LIFE・えんじん研究会 & 下水道女性キャリアチャレンジ勉強会	「トイレと共に「排泄」を支え続ける～下水道とオムツ」
失禁研究会	「失禁体験装置」
特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ	「性的マイノリティのトイレ問題を解決したい!」
静岡県三島市	「市内全域に広がる災害時のトイレ対策の必要性!」静岡県三島市
「災害時トイレどうしよう in 蔵」	「蔵市災害時トイレ & 下水道を考える会」

※詳細については、特定非営利活動法人日本トイレ研究所のホームページをご参照ください。

<https://www.toilet.or.jp/activities/1110>



◇第3回受賞者 (2018)

応募者名 (所属)	活動タイトル
★星 清孝 (道の駅「会津西街道たじま」駅長)	「おもてなしはトイレから。香るトイレで始まるコミュニケーション」
岡山 朋子 (大正大学 准教授)	「「トイレに行きたくない」状況をいかに回避するか考える.災害トイレ研究」
減災チーム・トイレの備え	「水を使わないトイレの「使い方体験」をすべての人に！」
集合住宅の在宅避難のためのトイレ使用方法 検討小委員会	「集合住宅の在宅避難のためのトイレ使用方法の検討とガイドラインの策定」
中日本高速道路株式会社 東京支社	「10年間にわたる継続的なトイレ美化の取り組みとトイレ分野の技術レベルの向上」
宮城県東松島市工事検査監兼危機対策専門員 小田島 毅	「マンホールトイレの啓発活動【イベントで普段使い】」
一般社団法人キャンパス東北/東日本大震災語り部 山田 葉子	「災害前に考えるトイレの備蓄」

◇第4回受賞者 (2019)

応募者名 (所属)	活動タイトル
★小林製薬株式会社	「小学校に洋式トイレプレゼント！全国47都道府県 累計120校への寄贈達成」
☆旭区トイレ美化委員会	「外出時にトイレで困らないまちに向けて」
特定非営利活動法人アクセシブルラボ	「避難所における多目的トイレ調査」
ウォレットジャパン株式会社	「北海道胆振東部地震の体験からトイレの大切さを伝える～快適トイレの普及活動」
片桐 美枝	「笑顔で“うんち・おしっこ”の話ができるリハビリ施設です！」
熊本市上下水道局	「熊本地震の経験を活かしたマンホールトイレの普及啓発」
中央大学杉並高等学校	「非常用トイレは個室に備蓄」
前田真	「『次世代の涙み取り業務の確立に向けて』～怒りや悲しみを誇りに。 そして、次のステージへ誇りのすべてを光に～」

◇第5回受賞者 (2022)

授賞者名 (所属)	活動タイトル
★無臭元工業株式会社	「『トイレぼうさいキッズ』～小学生親子向け 災害時トイレの理科実験教室～」
☆Plunger	「SDGsを漫画で学べるトイレトッパー」

※詳細については、特定非営利活動法人日本トイレ研究所のホームページをご参照ください。

<https://www.toilet.or.jp/activities/1110>

